

混合液の作り方

例 1000cc			  <p>混合液</p> <p>5分浸漬</p>
	フィリオ30	ロータスクイーン	
量	100cc	約5cc 適量	
(希釈率)	(10倍)	(100/1)	

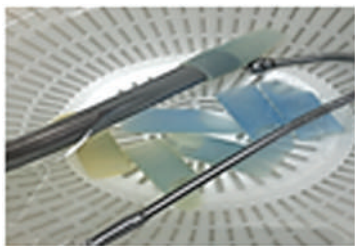
※作った混合液の保存期間は？ 1週間以内で使い切ってください。
 ※重要:他の次亜塩素酸又他の洗浄液とは 混合はしないでください。

リスクの高い、処置後のメンテナンス

Q:器具に触れる前に、ウイルスを除去してから”作業をスタートさせたい”

A:ファーストコンタクトから混合液で”**洗浄とウイルスの除去**”を**同時**に行います。

混合液(5分)浸漬



Q:混合液の浸漬後に、タンパク分解剤は必要ないのですか？

A:必要ありません。混合液がナノレベルで**タンパク分解**しますので。

Q:この場合(予備洗浄なし)の混合液の交換時期は？

A:”一回使い切り”で速やかに交換してください。

Q:あらかじめ、混合液を作り置きした場合の交換時期は？

A:1週間程度で、使い切ってください。

Q:混合液で、サビる器具はありますか？

A:殆どの材質に優しいのですが、サビやすい材質(例:スチールバー)は長く漬けておくとサビます。
 混合液は、長く浸漬する必要がなく、即効性を活かしてください。

Q:診療終了後に、混合液をバキューム・パイプ・スピットンに吸わせてもいいですね？

A:はい。混合液は中性で、低泡で、配管を痛める心配もなく**トリプル効果**で強力なウイルス、タンパク、脂肪の汚れを洗浄除菌し、消臭効果も発揮させます。